

2022年7月15日(金)

報道関係者各位

オリザ油化株式会社

## オリザ油化が海外向けにこめ油を提案！

### 海外食品展示会 IFT first2022 にこめ油を初出展！

### 海外食用油需要の提案にこめ油を PR！

オリザ油化株式会社(本社:愛知県一宮市、代表取締役社長:村井弘道、以下「オリザ油化」)は 2022年7月10日~13日にアメリカ、シカゴにて開催された食品展示会「IFTfirst2022」に現地パートナー商社との共同出展という形で初めて参加し、同社のこめ油を積極的にPRした。

IFTfirst2022は食品の原料、設備、包装関係のサプライヤーが数多く集う米国の食品業界展示会の1つ。これまで同社は、独自開発の世界特許製法である低温抽出法、蒸留脱酸法による高品質でサステナブルなこめ油の海外向けPRを、アジア、ASEAN諸国の展示会を中心に行ってきた。ここ数年、国内の食用こめ油の需要が高まっている一方で、世界全体で食用植物油の供給不安が広がり、国外においてもこめ油に対する関心が強まっている。食用植物油を取り巻く環境が目まぐるしく変化し、こめ油に対する新規の需要が高まる中、オリザ油化は、海外のこめ油メーカーと、長年に渡り強固なパートナーシップ関係を築き、海外こめ油の調達体制を整えてきた。

同社は海外こめ油の調達を安定的に進めるのと同時に、歴史的な円安の進行も背景に、国内のみならず海外への販売戦略の強化に打って出る必要性を強く感じ、今がその絶好の機会であると捉えている。



今回、開催された展示会では、米国内を中心に食品メーカーや外食産業で需要の高いひまわり油をこめ油との代替ターゲットとして、同社のこめ油との比較試験データを中心に提示し、来場者にPRした。

アメリカ国内でのこめ油の認知度はまだそれほど高くないが、ひまわり油を始め、世界的に植物油全般の供給不安が広がり、またエシカル消費志向が世界的なトレンドになりつつある中で、現代のSDGsの概念とマッチしたサステナブルオイルであるこめ油に対する来場者の関心は強く、興味深い質問が数多く寄せられた。

早速、米国内のスナックメーカーやベーカリーメーカーなどから取引に前向きなコンタクトを得るなど、手ごたえを感じており、オリザ油化は引き続き、国産こめ油の製造と、海外こめ油調達による供給の安定化、国内と海外の両軸での販売強化について取り組み、こめ油の普及を進めていく予定だ。